

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成27年10月21日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 東京都江東区有明三丁目7番18号 有明セントラルタワー8階		氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 大和リゾート株式会社 代表取締役社長 柴山 良成
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	大和ワカグループ中期環境行動計画「イントリダクションプログラム2015」	
適 用 範 囲	大和ワカグループ 全社 ✓	
導 入 年 月 日	平成25年 12月 6日	
認 証 番 号		
基 本 方 針	環境と企業収益の両立 戦略的環境活動・・・企業収益の創出・ブランド価値の向上 基本的環境活動・・・商品・サービス、事業活動を通じた環境保全 環境経営の基盤・・・環境経営を支える体制や仕組み	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	大和リゾート株式会社計画では2007年度比で2015年度の二酸化炭素排出量原単位を40%削減	
目標を達成するための取組の内容	照明のLED化 重油焚き調熱源および給湯熱源の空冷ヒートポンプ化による重油使用量削減を計画	
目標を達成するための取組の進捗状況	・改装工事実施範囲ごとに照明器具LED化、誘導灯LED化を順次実施 ・2014年2月、重油焚き調熱源装置2基のうち1基を空冷ヒートポンプ調熱源装置に更新 ・2014年2月、1階ロビー、ショップ空調機をインバータ制御に更新	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	二酸化炭素排出量原単位で前年度比12.3%削減。 総排出量は前年度比で0.04%増加するも利用客数が14%増加したため原単位では大きな削減となった。二酸化炭素削減には継続して重油使用量を削減していく必要があるが、結果では総量で0.2%増加となった。今後の計画では運営改善だけでなく省エネ改修を加速させることが必要である。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について法定の点検周期毎の点検作業の実施、報告書提出を行っている。これまで違反および行政当局からの指摘は無かった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	半期毎に進捗確認を行い、年度毎に実績評価を行い、その結果により次年度の計画を作成している。 当マネジメントシステムは2015年度を最終目標年度としており、引続き、基本方針に従った活動を行う。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。